

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

2021年11月5日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。

当社グループの報告セグメント

電子機器用部材事業 (電材事業)

PWB用部材を始めとする電子部品用
化学品部材の開発・製造販売及び
仕入販売



医療・医薬品事業 (医薬事業)

医療用医薬品・医療用医薬部外品
その他に関する開発・製造販売



その他事業

染料・顔料等の化学品の製造販売、
自然エネルギーによる発電事業及び
ソフトウェア開発等



電材事業

- 売上高は、前年同期比で 37%増加
 - 営業利益は、前年同期比で 49%増加
- 主要因
- 第1四半期より量産を開始した新製品である白色ドライフィルム型ソルダーレジストがminiLEDディスプレイへ採用され売上が好調
 - 半導体市場の好調を受け、PKG用製品の売上が過去最高を記録

医薬事業

- 売上高は、前年同期比で 5%減少
- 主要因
- 新型コロナウイルス感染症対策の徹底による、その他感染症関連製品の販売数量の減少
 - 長期収載品の薬価改定による販売単価の下落
- 太陽ファルマテックで細胞製品製造施設の竣工

全社

- 株式分割及び株式分割に伴う一部定款の変更、並びに配当予想の修正
2021年9月30日を基準日として、同日の株主名簿上の株主の所有する普通株式1株を2株に分割
- 2022年3月期 業績予想の修正

連結業績

売上高、営業利益、経常利益については、2021年8月2日に開示した下半期の業績予想を据え置くとともに、上半期の業績を実績に合わせて更新しました。

その結果、2021年8月2日に開示した通期業績予想を上回る見込みとなりました。

連結業績サマリ

単位：百万円

	① 2021年3月期 上半期 実績	② 2022年3月期 上半期 実績	②-① 前年同期比	(②-①) ÷① 増減率	③ 2022年3月期 8月2日発表 上半期 業績予想	②÷③ 進捗率	④ 2022年3月期 11月5日発表 通期 業績予想	②÷④ 進捗率
売上高	39,436	48,348	8,912	23%	48,100	101%	92,200	52%
営業利益	7,011	9,301	2,290	33%	8,400	111%	15,900	58%
経常利益	6,982	9,505	2,523	36%	8,400	113%	16,000	59%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,803	6,717	1,914	40%	6,400	105%	11,200	60%
円・USDレート	106.6	110.2	3.6		108.0		108.0	
EBITDA	10,704	13,197	2,493	23%	12,200	108%	23,700	56%
営業利益率	18%	19%			17%		17%	
EBITDA マージン	27%	27%			25%		26%	

2022年3月期 通期業績予想修正

通期業績予想

単位：百万円

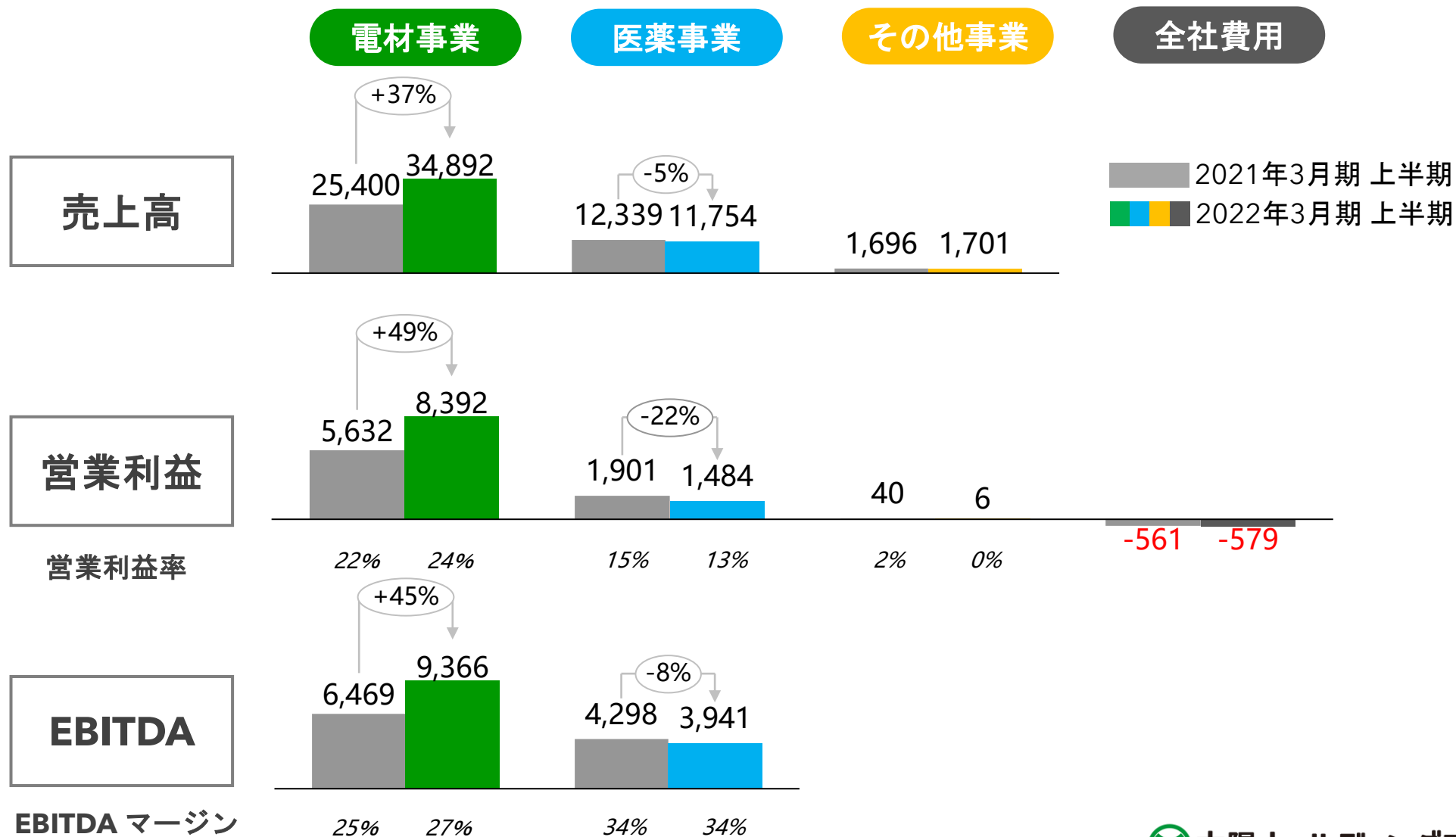
円・USD想定レート 108円

	2022年3月期 業績予想			2022年3月期 業績予想		
	11月5日 発表			8月2日 発表		
	連結	電材事業	医薬事業	連結	電材事業	医薬事業
売上高	92,200	64,700	23,600	91,900	63,800	23,900
営業利益	15,900	15,400	1,900	15,000	15,200	1,400
EBITDA	23,700	17,400	6,500	22,800	17,200	6,000
営業利益率	17%	24%	8%	16%	24%	6%
EBITDA マージン	26%	27%	28%	25%	27%	25%

セグメント別業績

セグメント別売上高・営業利益・EBITDA

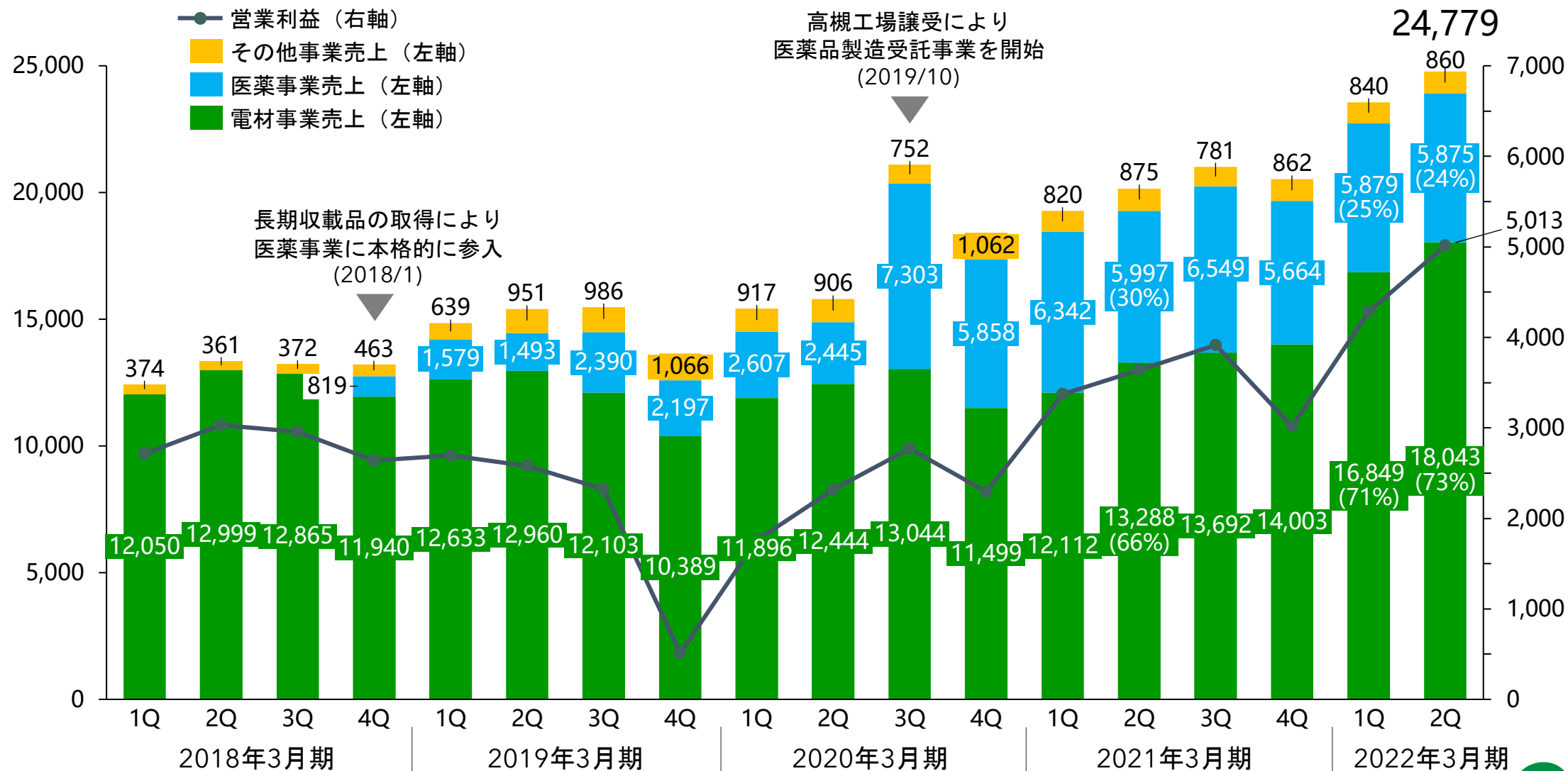
単位：百万円



四半期別推移

四半期別推移：売上高/営業利益

単位：百万円



BSの概況

BS前期比較

単位：百万円

	21/3末	21/9末	増減
現金及び預金	54,705	51,712	▲ 2,993
受取手形及び売掛金	22,527	25,927	3,400
棚卸資産 ^{※1}	13,447	15,376	1,929
上記以外	2,258	1,944	▲ 314
流動資産合計	92,937	94,959	2,022
有形固定資産	46,348	49,660	3,312
無形固定資産	34,949	34,024	▲ 925
投資その他の資産	4,765	5,386	621
固定資産合計	86,063	89,071	3,008
資産合計	179,001	184,031	5,030

	21/3末	21/9末	増減
支払手形及び買掛金	7,907	9,276	1,369
短期借入金 ^{※2}	21,885	23,413	1,528
長期借入金	59,333	56,016	▲ 3,317
上記以外	13,379	13,816	437
負債合計	102,504	102,521	17
株主資本	74,184	78,541	4,357
その他の包括利益累計額	1,954	2,592	638
非支配株主持分	357	375	18
純資産合計	76,497	81,509	5,012
負債純資産合計	179,001	184,031	5,030

※1 棚卸資産：商品及び製品+仕掛品+原材料及び貯蔵品

※2 短期借入金：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

自己資本比率 **42.5%** **44.1%** **+1.6%**

電子機器用部材事業

用語説明

用語	内容
PWB (Printed Wiring Board)	プリント配線板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト（レジストインキ）
PKG (Package)	半導体パッケージ
DF (Dry Film)	ドライフィルム

電子機器用部材事業

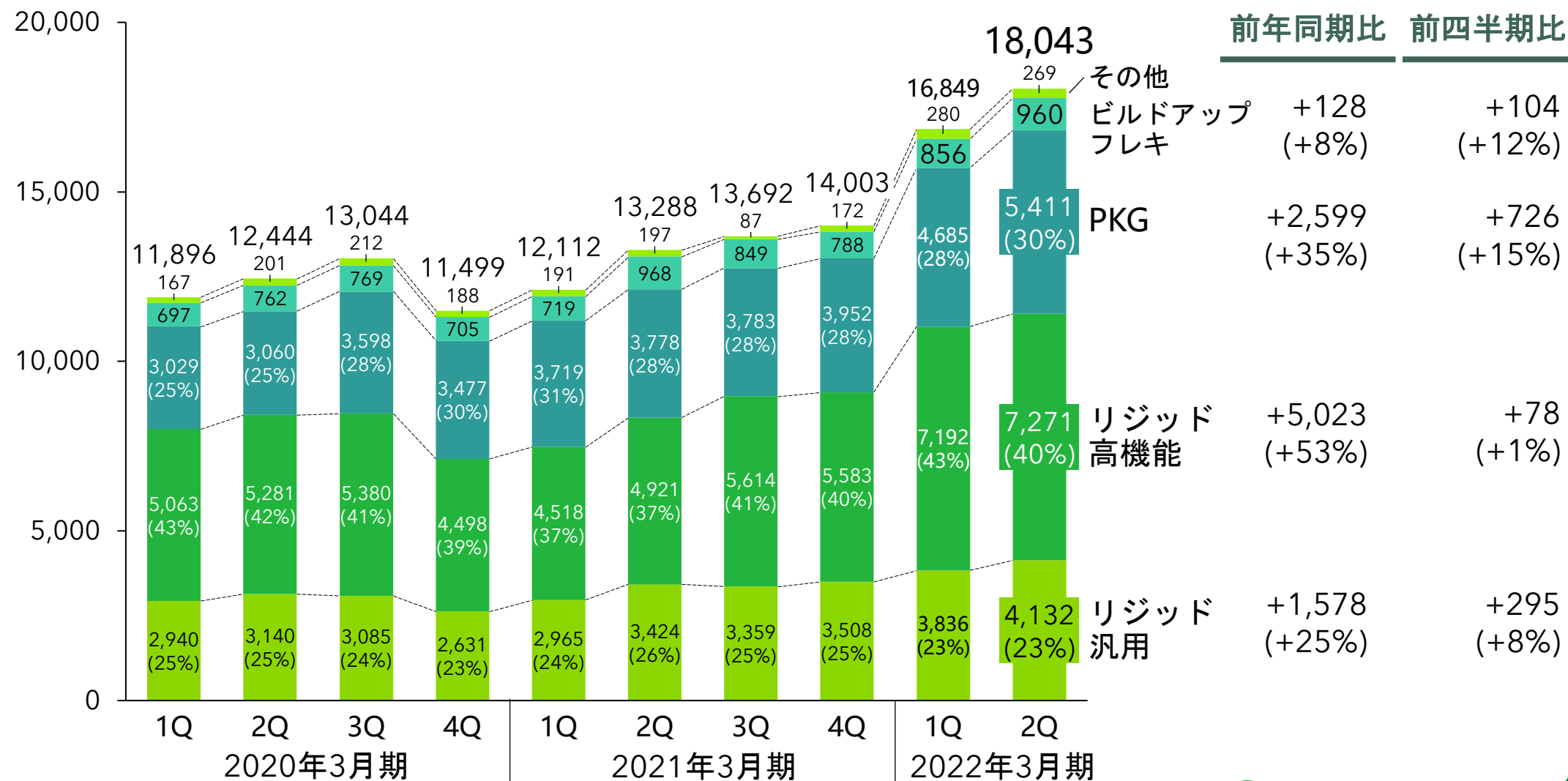
製品分野

分野	分類		性状	用途
PWB用 絶縁材料	リジッド	汎用品	液状	表層保護・絶縁用 SR材料 電子機器用材料
		高機能品	液状／DF	
	PKG		液状／DF	
	フレキ		液状／DF	
	ビルドアップ		液状／DF	
その他 関連商材	その他		液状	マーキング・エッチング・めっき用材料 フラックス・溶剤等・導電性銀ペースト

電子機器用部材事業

製品別売上高

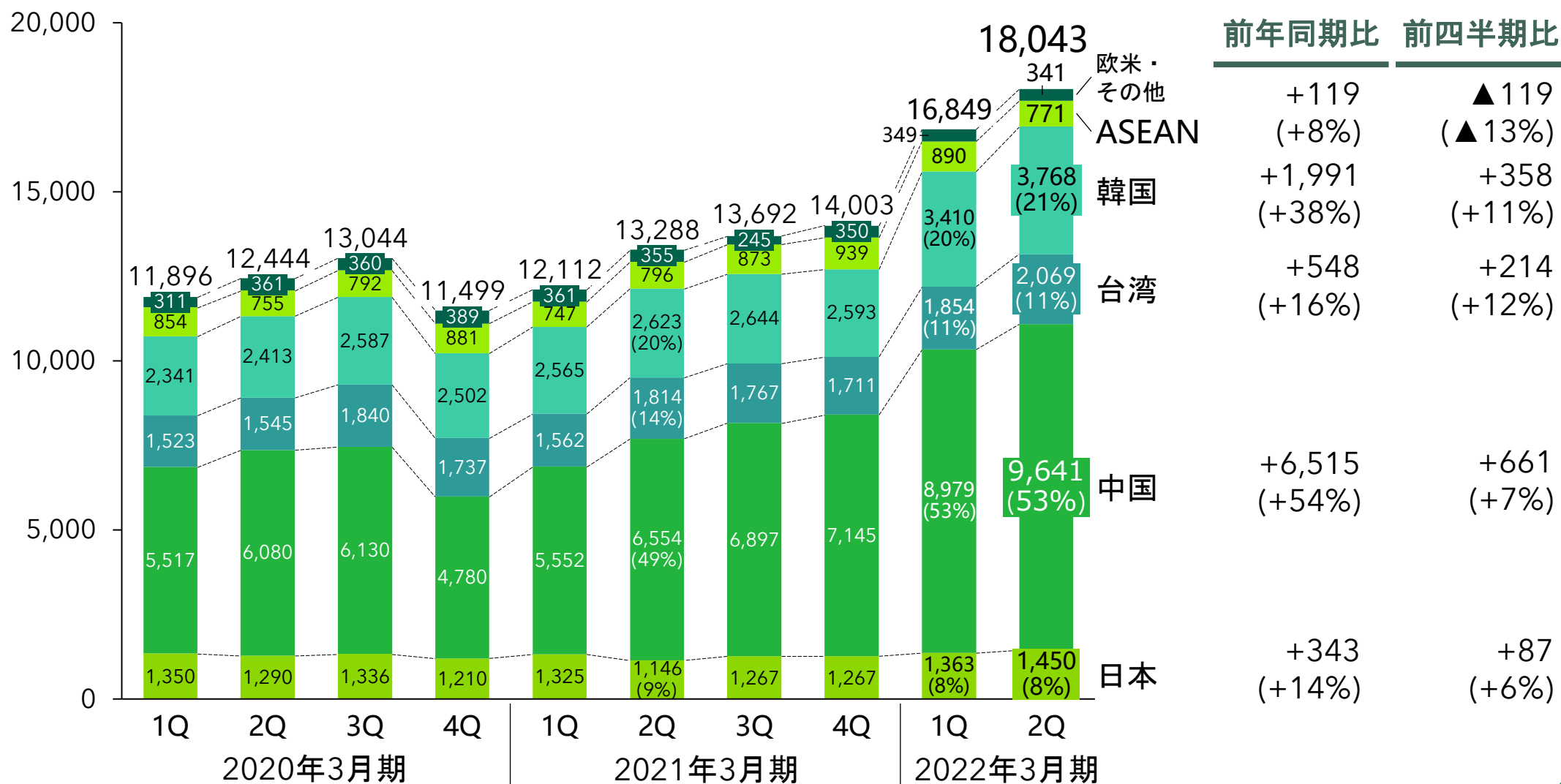
単位：百万円



電子機器用部材事業

販売地域別売上高

単位：百万円

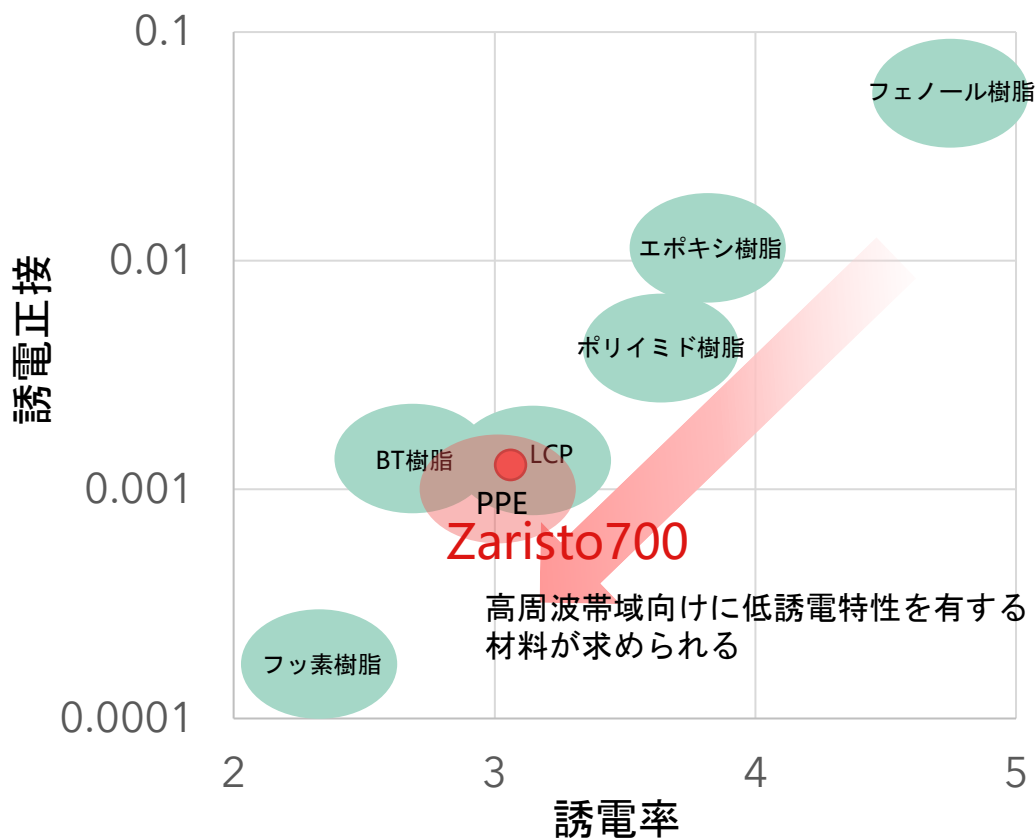


「新規樹脂を用いた高周波対応熱硬化型フィルム」

第17回JPCAアワードを受賞

- ✓ 次世代通信規格「5G」の高周波帯域で使用される電子機器向けに開発
- ✓ プリント配線板などの電子回路基材、半導体PKG用の層間絶縁材に適用可能
- ✓ 優れた高周波電気特性を持ちながら、既存材料と同等の加工性、信頼性を実現

各種材料の電気特性



JPCA（一般社団法人日本電子回路工業会）

電子回路工業の高度化を図ることにより、電子回路工業及び関連産業の健全な発展に資するとともに、電子回路の品質、性能の向上を図ることにより、電子工学技術の進歩発展と電子機械の機能の向上に資し、もって国民経済の発展に寄与することを目的に設立された業界団体

<https://jpca.jp/>

医療・医薬品事業

用語説明

用語	内容
長期収載品	新薬として発売された後に特許期間もしくは再審査期間が終了し、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の販売が可能となっている先発品
CDMO	医薬品製造及び医薬品製剤開発を受託する機関 (Contract Development Manufacturing Organization)
GMP	医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準 (Good Manufacturing Practice)

制吐剤「カイトリル[®]注射剤」の公知申請

太陽ファルマは、カイトリル[®]注射剤について効能効果等追加の公知申請*1を9月22日に行いました。7月12日開催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議*2」の公知申請の該当性報告書に基づき、8月30日開催の薬事・食品衛生審議会医薬品第一部会の事前評価を受け、医薬品製造販売承認事項一部変更承認申請を行いました。



販売名：カイトリル注1mg

同注3mg

同点滴静注バッグ3mg/50mL

同点滴静注バッグ3mg/100mL

現在の効能・効果：

抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与及び放射線照射に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）

公知申請した効能・効果（案）：

術後の消化器症状（悪心、嘔吐）

*1公知申請とは、外国において既に当該効能又は効果等により承認され、当該医薬品の有効性・安全性が医学的に公知であるとして、臨床試験の全部又は一部を新たに実施することなく行う承認申請のこと

*2「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」とは、欧米では使用が認められているが、国内では承認されていない医薬品や適応について、医療上の必要性を評価するとともに、公知申請への該当性や承認申請のために追加で実施が必要な試験の妥当性を確認すること等により、製薬企業による未承認薬・適応外薬の開発促進に資することを目的として設置

太陽ファルマテック 細胞製品製造施設竣工

太陽ファルマテック高槻工場内に細胞製品製造施設を竣工いたしました。
包括的パートナーシップ契約を締結している株式会社サイフューズの製品開発において
製造面で重要な役割を果たすとともに、細胞製品製造受託事業を開始いたします。



細胞製品製造施設概要

所在地：大阪府高槻市明田町4-38

延床面積：243 m²

竣工：2021年9月28日



